



令和7年3月17日

## 防災講話In旭小学校

3月5日(水)、旭小学校の3年生を対象に清水センター長の出張防災講話を行いました。題して「防災のエキスパートによる講話」の3回目ということもあり、子どもたちはどんなお話なのかと楽しみにしてくれていました。講話では身近な出来事として、2月に発生した火災について触れました。その中で、旭地区で活躍する消防団と消防団の格納庫がどの町にあるかを防災安全マップで確認しました。自分の住んでいる町区しか知らない子どもたちは、防災安全マップを見ながら二人一組で一生懸命に探しました。一つ目の前田町のJR肥前旭駅前横の一角は、みんなすぐに見つけることができ、「あったー」と喜んでいました。あと2つの於保里と不動島の格納庫は苦戦していましたが、お互いに教え合う優しさも見られました。

また第5分団は現在25名の方が活躍されています。(女性も加入可)災害時には「自分の命は自分で守る！」ことを教わり、次のような緊迫した3つの質問が寄せられました。①「避難所に行けないときは？」②「部屋の扉が開かなくなったときはどうしたらいいですか？」③「火災と地震が同時に起こったときは？」清水センター長からは、①について「まず道がわからず避難しない！センターまで来られないなら近くの公民館や高台、家の中なら2階に上がりましょう」②について「椅子などで扉をたたいて、まずは自分がここにいることを周りの人に知らせましょう！」③について「地震が発生したら、台所の火などで火災が起きるので、まずは火を消して慌てないこと！ベットや布団での就寝時、転倒や落下物はないかや自宅を確認！すぐに外に出ないでね」と教わりました。また子どもたちだけでなく、先生方も熱心にメモを取られていました。45分と限られた中で、子どもたちは貴重な時間を過ごし、たくましくなったように見えました。

## 災害時の避難および避難所について

## 旭まちづくり推進センター役割

災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在させる、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に身を守るために滞在させる施設として市町村長が指定する避難所です。(一次避難所短期1~3日、2次避難所3日以上)

☆大切な人と話をしましょう♡

自分の命は自分で守る行動をする

### ☆避難する場所を知っていますか？

もしもの時に逃げる場所を決めておきましょう。

例：家の近くの公民館、指定避難場所

(まちづくり推進センター、小学校、中学校、親戚、友人の家など)

### ☆自分の命は自分で守る

♡日頃から地震発生対策を忘れずに♡

1. 日頃から寝る時は物が倒れても大丈夫な場所に
2. 非常持ち出し物はわかる所に保管、身近な場所に
3. まずは自分の体を守り落ち着いてから行動する様に



♡洪水、土砂災害、がけ崩れ、大規模火災、地震など発生時には避難する♡

## 2月26日（水）旭小学校でプルタブ蓋の贈呈式が行われました。



特定非営利活動法人NPOわかば理事長の森田紀男さんは、「旭小学校の生徒達が集めてくれたたくさんのプルタブ蓋をいただき、回収活動も今回で五年目となりました。生徒たちの温かい気持ちに感謝しています。」と嬉しそうに話されました。回収されたプルタブ蓋はイオン村田店へ届けられ、全国のイオン様からワクチン活動の支援事業に送られます。皆さま、ご協力いただきありがとうございます。

## ☆令和6年度 隠れた善行者が選ばれました。表彰おめでとうございます☆ 鳥栖市青少年育成市民会議

❀おめでとうございます❀

### 《小学校の部》

### 《学校推薦》

【自分の当番を責任をもってできたで賞】

旭小学校6年 山口快晴さん

【努力賞】

旭小学校6年 西生結咲さん

【努力と優しさ賞】

旭小学校6年 野田真さん

【誠実賞】

旭小学校6年 大橋想来さん

### 《中学校の部》

### 《学校推薦》

【随処為主賞】

鳥栖西中学校3年 仁部愛梨さん

【勤労賞】

鳥栖西中学校3年 末藤力渡さん



【努力賞】

旭小学校5年 西津優衣華さん

旭小学校5年 本多菜雛さん

❀おめでとうございます❀

《まちづくり推進センター推薦》